

タブレットがぐっと身近になる

Hello, Tablet!

2022年
9月 Vol.7
教育総合研究所

タブレット端末活用のアップデートがあります

今すぐ更新

あとで



今号のもくじ

- ◇ いろいろアップデート！
校内研修 ショートカット クラウドアプリ
- ◇ そうけんさんのICT奮闘記
オンライン会議に参加
- ◇ デジタル・シティズンシップ教育
授業実践②

日々のトラブル

DX川柳

今日習い 知ったかぶりて 明日先生

自分ができるようになったことを近くの人に自慢してみましよう。それが、校内の活用促進につながることもありますよ！

活用をアップデートする ちょい足しアイデア集 UPDATE

デスクトップにちょい足し

クラウドで共有しているファイルまでたどり着くのが手間だなと思ったことはありませんか。

そんなときは、ファイルのリンクを取得してデスクトップにショートカットを作成するとワンクリックで編集が始められます。なかなか行事予定や連絡を入力してくれない人のデスクトップに作ってあげると入力頻度が上がること間違いなし！

データのやり取りにちょい足し

クラウドを経由しなくても、近くの人には直接データが渡せるんです。でも、うちはiPadじゃないからと諦めるのは早いですよ。

実は、WindowsやChromeBookでも同じことができるのです。全ての機種でWifiとBluetoothと許可があれば始められます。ほとんどの端末が無線接続に対応してますが、許可についてはアップデート待ちの人も多いかも。

校内研修にちょい足し

校種別研修でも話題になった、教員間のスキル格差の解消にLINE感覚で共有ファイルを編集してみませんか。

それぞれが好きなタイミングで共有ファイルへ順番に1行書き込むだけなので研修の時間を設ける必要もありません。共同編集の第一歩です。いつでも書き込めるように、デスクトップにショートカットをちょい足しするのを忘れなく。

普段のアプリにちょい足し

インターネット上にはインストール不要で使えるアプリがたくさんあります。プレゼンソフトの機能を充実させるものや、ゲーム的な要素を取り入れて知識の習得をはかるもの、意見の共有や分析ができるものなど、ちょい足しすることで学習活動の幅が広がります。アプリのインストールが難しい場合の選択肢の1つとして考えてみてください。



Take it easy

そうけんさんのICT奮闘記

連載 第2回



今月の困りごと **オンライン会議に突然呼ばれてしまった**

「来週の会議はオンラインでの実施に変更いたします。下記の接続情報からご参加をお願いします。なお、表示名は所属_氏名とし、説明資料はデータで共有してください。

ミーティングID 987 654 123 パスコード 246135

URL <https://zooom.com/987654123/>」

こんなメールが来たけど、URLをクリックするとどうなるんだ？。データの共有？？ああ、対面がいいなあ。

Answer

表示名はURLクリック後に変更する 共有したいファイルはデスクトップに置く

会議には接続情報を入力したりURLをクリックしたりすると簡単に参加できますが、慌てて「はい」や「Yes」を押さないでください。一度、立ち止まって画面を見ると、そこには表示名の入力場所があるはずです。落ち着いて指定された形で入力してからボタンを押しましょう。変更せずに入室すると「〇〇のiPad」のように表示されてしまいますよ。

資料の共有が求められている場合は、デスクトップに予めワードやパワーポイントのファイルを置いておくとうれしいです。それでも、不安な場合は、前もってファイルを開いておくともっと安心ですよ。それと、マイクをミュートにしておかないと、接続時のドタバタが参加者全員に筒抜けになるのでご注意ください！

お便りのコーナー 6号目にしてついに便利です！

【質問】 資料（指導案、おたより等）のオンライン上での共有に係る著作権について知りたい

学校設置者等がSARTRASに補償金を支払っている場合、授業内で児童・生徒が使うもの（教材など）に含まれる他人の著作物は原則、無許諾で利用することができますが、授業外で利用するものは著作権者の許諾が必要になります。今回のご質問の「指導案」や「おたより」は授業以外での利用にあたるので、著作権者の許諾が必要となります。著作権については、改めて特集する予定です。

※さらに詳しく 「公衆送信補償金制度」「改正著作権法第35条運用指針」などのキーワードで検索

デジタル・シティズンシップ教育の授業実践

授業実践② テーマ「動画サイトを見るときは…」

授業実践の2回目は、動画サイトを見るときのポイントについて考えました。

授業のはじめに、アイスブレイクで「私の好きな動画」について紹介し合いました。子ども達からは、「好きなゲームの実況中継を見てゲームの攻略方法が学べる」、「自分の好きなものを映像で見ることで楽しい気持ちになれる」、「みんなが興味のあるものを早く知ることができる」など、動画の良さを子ども同士でシェアリングしていました。

動画には、「フィルターバブル」という特性があります。「フィルターバブル」とは、コンピュータが、その人の見た動画を覚えて、その人の好きそうなものや前に見た動画に似た動画が次々に出てくることです。子どもたちからは、「動画を見ていて、自分の好きな動画がどんどん出てくるので、おもしろくて、つい見過ぎてしまうことがある。」という声が出ました。

授業では、子どもたち同士で、動画を見る時間や約束を自分で守るためにはどうすると良いのか話し合い、具体的な方法を考えました。また、動画サイトを利用する時の約束を家庭で実践し、無理なく取り組めたかどうか、家族と一緒に振り返りをしました。中には、決めた約束を守ることが難しく、自分に合った方法に考え直す子もいました。一方的なルールを示すのではなく、「約束ごと」として家族と一緒に考えていくことで、子どもが自分事として課題を考える良い機会となりました。

どんな動画が見たいですか？その理由は何ですか？

私は、「動物」の動画を見たいです。かわいい動物を見ているといやされるからです。

僕は、動画を見て新しいことを知るのが楽しいです。



どんな工夫を考えた？僕は、宿題をしているときは通知をオフにするよ。

いい工夫だね。僕は、動画を見るときは、家族がいる部屋で見るよ。決めた時間を守るためにタイマーも使うよ。



デジタル・シティズンシップ教育への関心が集まりました！

7月29日（金）に行われた坂井地区の小学校生徒指導部会研修において、デジタル・シティズンシップ教育の授業実践を紹介しました。

研修では、ICT活用が日常になった今、子どものネットトラブルの背景をふまえ、これまでのトラブル後の生徒指導ではなく、「自分で考え、判断し、行動できる」子どもの育成を目指した積極的生徒指導としてデジタル・シティズンシップ教育の必要性について考えました。

研修の振り返りでは、「デジタル・シティズンシップ教育についての必要性を理解する機会が得られた。」、「時代の変化に合わせて、生徒指導もシフトしていることを痛感した。」、「実践に興味を持ったので、学校で伝達していきたい。特にメディアバランスの授業を行いたい。」などの感想がありました。



「デジタル・シティズンシッププラス」

（大月書店）

デジタル・シティズンシップ教育の具体的な授業例と実践のポイントが紹介されています。

テクノロジーを味方につけて積極的に発信し、豊かな民主主義を実現するデジタル市民への学びをめざす内容となっています。

お便りコーナーのアンケートフォームの URL

<https://forms.gle/6QdJ5mHm8ZooyxSN9>

QR コード



編集後記

次号も何かしらアップデートできるように準備してまいりますのでご期待ください。
先月は、かすかな期待を込めてお便りコーナーのQRコードを掲載しましたが、お便りが寄せられました！今号はQRコードのサイズを一回り大きくしたので、どしどしお便りください。質問や取り上げて欲しいテーマの要望もお待ちしています。